
2013年度 下期見通し



決算実績のポイント

減収減益

(+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲75:	-	都市ガス売上減	(▲152:数量減▲25、スライド差▲68、料金改定▲60他)
		+	電力売上増	(+30:販売数量増)
		-	LNG販売売上減	(▲14:数量減等)
営業費用	+40:	+	都市ガス原材料費等減	(+83:数量減+22、スライド差+61)
		-	電力原材料費等増	(▲28:数量増等)
		+	LNG販売 原材料費減	(+16:数量減等)
営業利益	▲35:	-	都市ガス粗利減少	(▲69 :料金改定影響▲60)
		+	電力利益増	(+2:数量増等)
		+	LNG販売利益増	(+2 :原材料費減)

(単位: 億円)

	下期今回見通し	下期前回見通し	増減	%	下期前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	7,810	7,858	▲48	▲0.6%	8,392	▲582	▲6.9%
売上高	11,465	11,540	▲75	▲0.7%	10,519	+946	+9.0%
営業費用	10,560	10,600	▲40	▲0.4%	9,713	+847	+8.7%
営業利益	905	940	▲35	▲3.7%	806	+99	+12.3%
経常利益...①	881	940	▲59	▲6.4%	804	+77	+9.5%
当期純利益	603	610	▲7	▲1.3%	617	▲14	▲2.4%
気温影響...②	0	0	0	—	21	▲21	—
スライドタイムラグ...③	112	119	▲7	—	▲132	+244	—
年金数理差異償却額...④	▲11	▲11	0	—	▲22	+11	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	780	832	▲52	▲6.3%	937	▲157	▲16.8%
補正当期純利益	536	539	▲3	▲0.6%	705	▲169	▲24.0%

経済フレーム(2013年度下期)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	100.0	110.0	11.7
前回見通し	100.0	110.0	11.7

連結ガス販売量下期見通し

前回見通し→今回見通し

▲48百万m³ (▲0.6%)の減少

[うち気温影響 0百万m³ 0%]

■ 家庭用	+1百万m ³ (+0%)
● 気温要因	0百万m ³
● 日数影響	0百万m ³
● お客さま件数	+2百万m ³
● その他	▲1百万m ³
■ 業務用	+2百万m ³ (+0.1%)
● 気温要因	0百万m ³
● 日数影響	0百万m ³
● お客さま件数	0百万m ³
● その他	+2百万m ³
■ 工業用	▲30百万m ³ (▲0.9%)
● 一般工業用: 既存設備稼働減等	▲10百万m ³
● 発電専用: 既存設備稼働減等	▲20百万m ³
■ 卸	▲21百万m ³ (▲1.9%)
● 気温要因	0百万m ³
● その他	▲22百万m ³
卸供給事業者需要減等	

前年実績→今回見通し

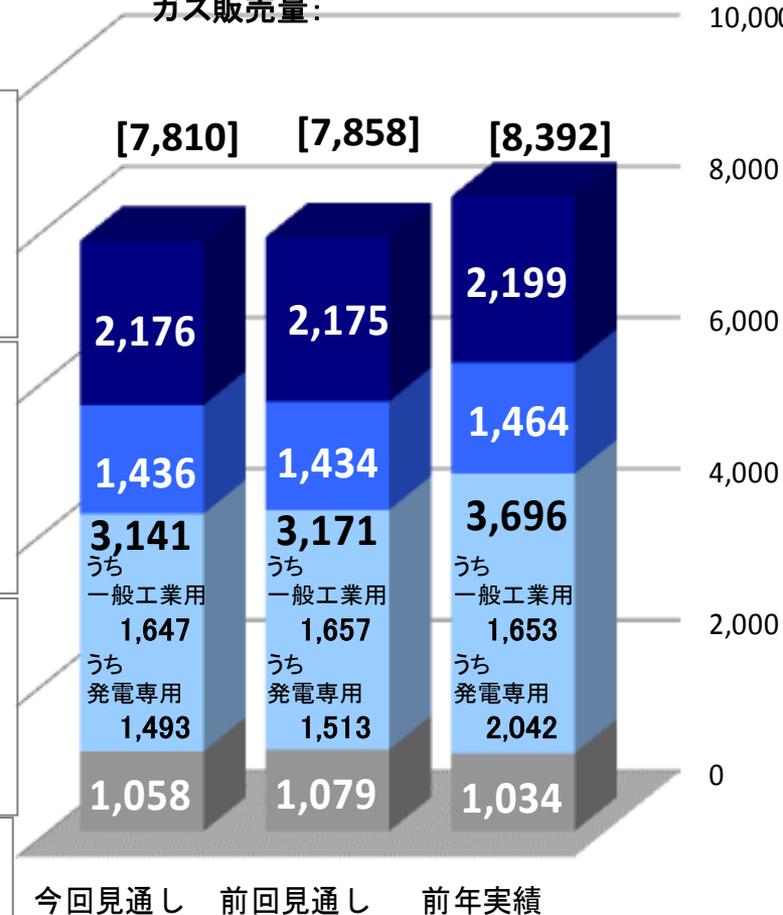
▲582百万m³ (▲6.9%)の減少

[うち気温影響▲56百万m³▲0.7%の減少]

■ 家庭用	▲23百万m ³ (▲1.0%)
● 気温要因	▲29百万m ³
● 日数影響	0百万m ³
● お客さま件数	+26百万m ³
● その他	▲20百万m ³
■ 業務用	▲28百万m ³ (▲1.9%)
● 気温要因	▲22百万m ³
● 日数影響	0百万m ³
● お客さま件数	0百万m ³
● その他	▲7百万m ³
■ 工業用	▲555百万m ³ (▲15.0%)
● 一般工業用: トーリング影響	▲6百万m ³
● 発電専用:	▲549百万m ³
● その他	+24百万m ³ (+2.3%)
● 気温要因	▲5百万m ³
● その他	+29百万m ³
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:

(百万m³以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
LNG液販売量(千t、ニジオ向け除く)	447	458	▲11	389	+59
平均気温(℃)	11.7	11.7	+0	11.6	+0.1

トーリング移行によるガス販売量変化

2013年度下期見通し

■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

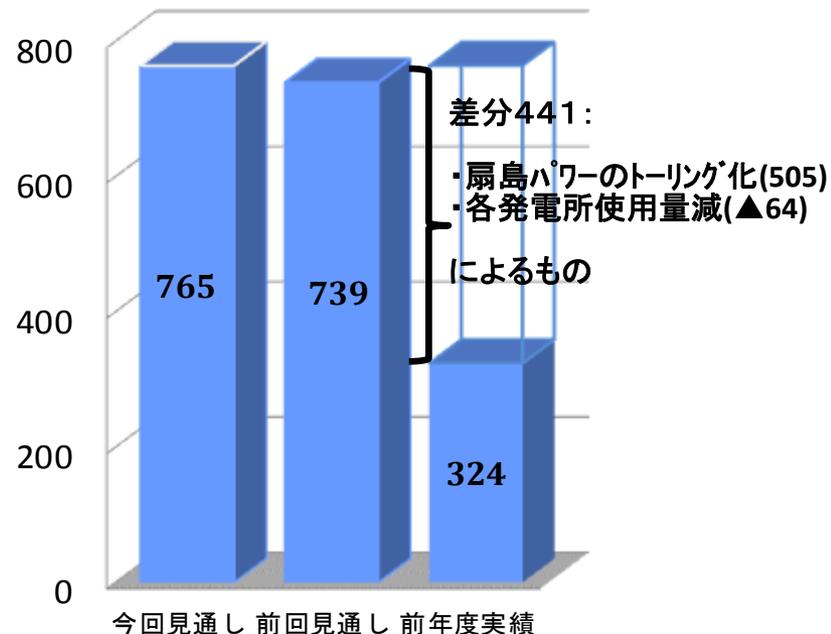
	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	7,810	7,858	▲48 ▲0.6%	8,392	▲582 ▲6.9%
トーリングによる ガス使用量	765	739	+26 +3.5%	324	+441 +136.0%
合計	8,575	8,597	▲22 ▲0.3%	8,716	▲141 ▲1.6%

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	291	1,202	1,493
(対前年実績)	+77(+35.8%)	▲626※(▲34.2%)	▲549(▲26.9%)
(対前回見通し)	▲5(▲1.7%)	▲15(▲1.2%)	▲20(▲1.3%)
一般工業用	96	1,551	1,647
(対前年実績)	+37(+62.2%)	▲43(▲2.7%)	▲6(▲0.4%)
(対前回見通し)	+9(+10.0%)	▲19(▲1.2%)	▲10(▲0.6%)
合計	387	2,754	3,141
(対前年実績)	+114(+41.5%)	▲669(▲19.5%)	▲555(▲15.0%)
(対前回見通し)	+4(+1.0%)	▲34(▲1.2%)	▲30(▲0.9%)

トーリングによるガス使用量

百万m³, 45MJ/m³



※トーリング:電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分:▲505

2013年度 通期見通し(対当初計画)



2013年度 通期見通し <対当初計画>



決算実績のポイント

減収増益

(+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲360:	-	都市ガス売上減	(▲447:数量減▲234、スライド差▲158、料金改定▲60等)
		+	電力売上増	(+75:数量増、単価増)
営業費用	+340:	+	都市ガス原材料費減	(+307:数量減+137、為替+45、油価+79等)
		-	電力 原材料費増	(▲46:数量増)
営業利益	▲20:	-	都市ガス営業利益減	(▲121 :ガス粗利の減▲140(料金改定▲60他))
		+	電力営業利益増	(+29 :数量増・単価増)
当期純利益	+20:	+	その他のセグメント利益増(+51:器具・工事+15、電力+29、海外+14等)等	
		+	法人税等減	(+56)

(単位: 億円)

	2013年度今回見通し	2013年度当初計画	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,483	14,781	▲298	▲2.0%
売上高	20,800	21,160	▲360	▲1.7%
営業費用	19,210	19,550	▲340	▲1.7%
営業利益	1,590	1,610	▲20	▲1.2%
経常利益...①	1,530	1,550	▲20	▲1.3%
当期純利益	1,030	1,010	+20	+2.0%
気温影響...②	▲85	0	▲85	—
スライドタイムラグ...③	221	209	+12	—
年金数理差異償却額...④	▲22	▲22	0	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,416	1,363	+53※	+3.9%
補正当期純利益	955	886	+69	+7.8%

※+53:ガス販売量減▲12(気温影響▲85控除後)、料金影響▲60、電力+29、海外+14、その他のセグメント利益等+82

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
2013年度(今回)	99.43	108.83	17.0
2013年度(当初)	100.00(▲0.57)	110.00(▲1.17)	16.6(+0.4)

()内対当初計画増減

連結ガス販売量通期見通し

当初計画→今回見通し

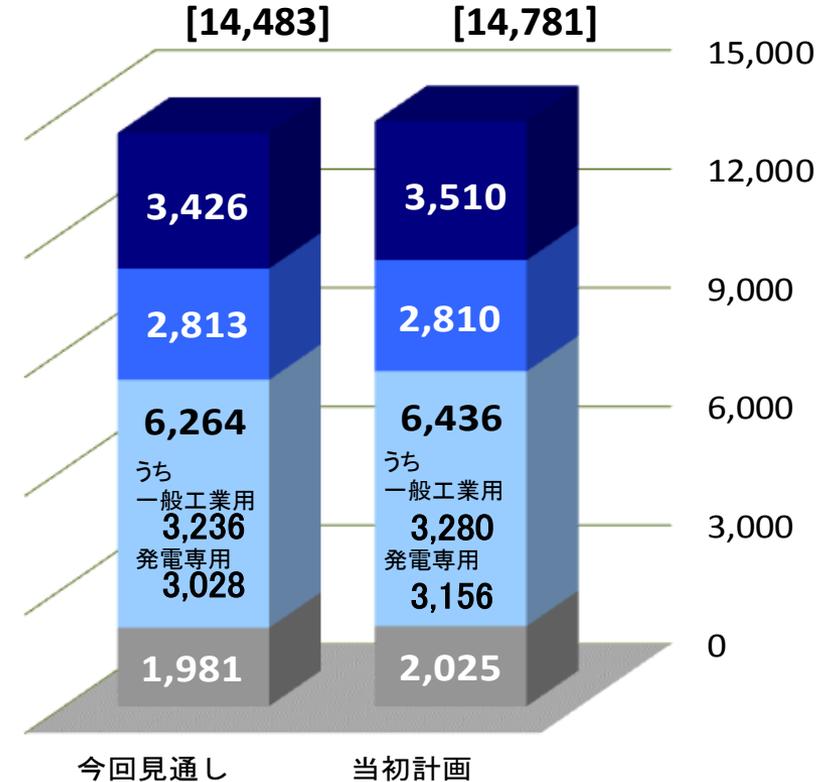
百万m³, 45MJ/m³
(百万m³以下四捨五入)

▲298百万m³ (▲2.0%)の減少

[うち気温影響▲79百万m³▲0.5%の減少]

■ 家庭用 ・気温要因 ・日数影響 ・お客さま件数 ・その他	▲84百万m³ (▲2.4%) ▲86百万m ³ ▲2百万m ³ +1百万m ³ +2百万m ³
■ 業務用 ・気温要因 ・日数影響 ・お客さま件数 ・その他	+3百万m³ (+0.1%) +12百万m ³ +1百万m ³ ▲8百万m ³ ▲2百万m ³
■ 工業用 ・一般工業用: 既存設備稼働減等 ・発電専用: 既存設備稼働減等	▲172百万m³ (▲2.7%) ▲44百万m ³ ▲128百万m ³
■ 卸 ・気温要因 ・その他	▲44百万m³ (▲2.2%) ▲5百万m ³ ▲39百万m ³

ガス販売量:



	今回見通し	当初計画	増減
LNG液販売量 (千t、ニジオ向け除く)	790	795	▲5
平均気温(°C)	17.0	16.6	+0.4

お客さま件数(万件)

今回見通し	当初計画	増減
1,110.5	1,110.2	+0.3(+0.0%)

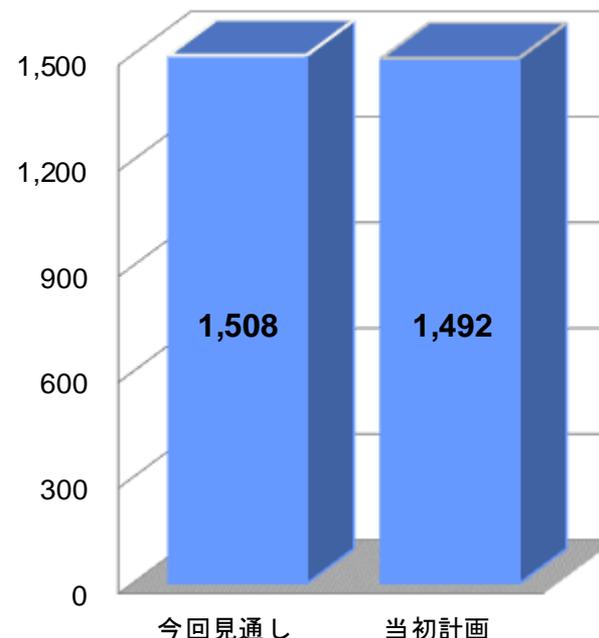
2013年度見通し

百万m³, 45MJ/m³

●トーリングによるガス使用量込(単位:百万m³)

	今回見通し	当初計画	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,483	14,781	▲298 ▲2.0%
トーリングによる ガス使用量	1,508	1,492	+16 +1.0%
合計	15,991	16,273	▲282 ▲1.7%

トーリングによるガス使用量



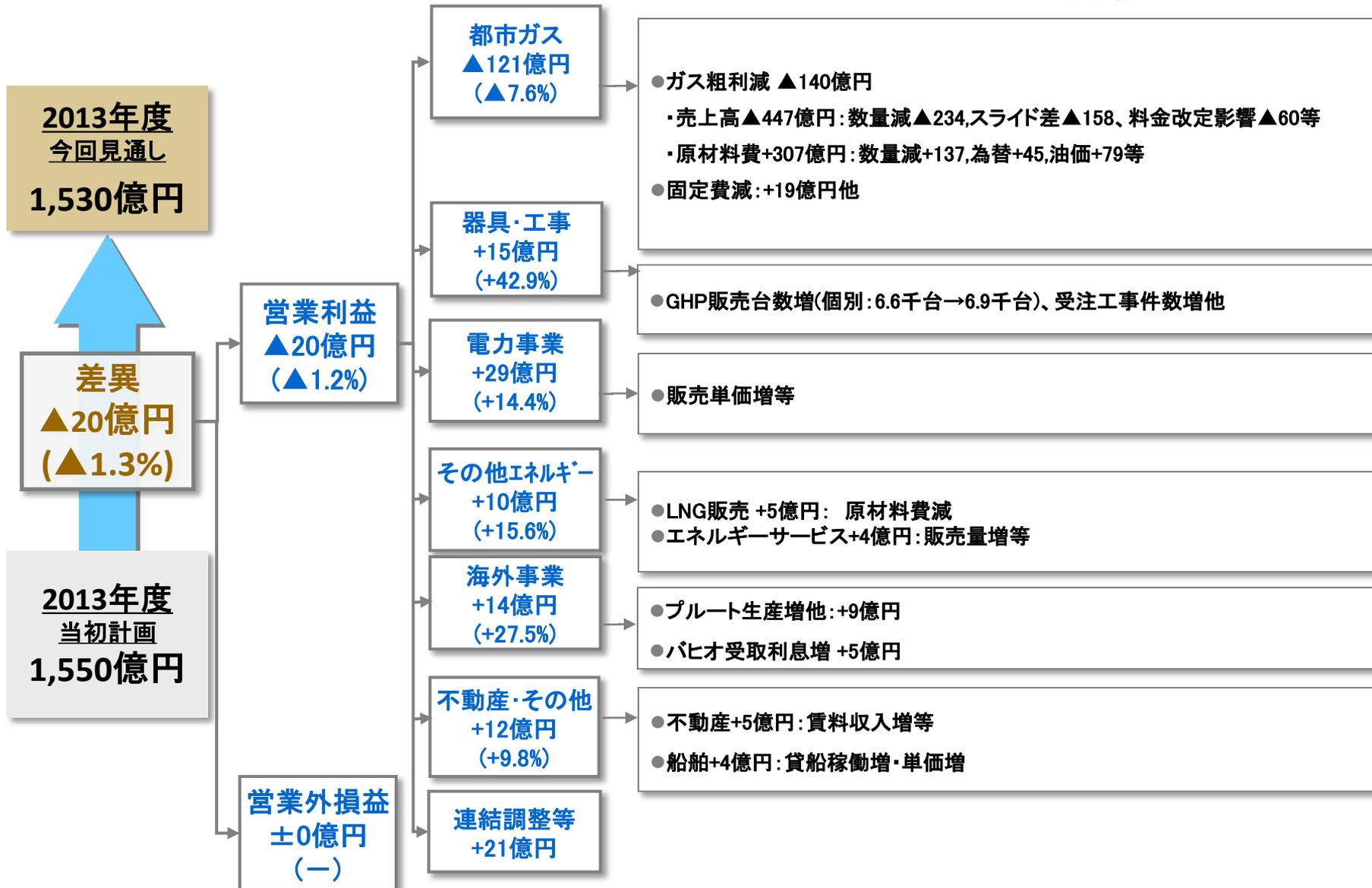
●工業用ガス販売量内訳(単位:百万m³、()内は当初計画増減)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	487	2,541	3,028
	▲69(▲12.5%)	▲58(▲2.2%)	▲128(▲4.0%)
一般工業用	167	3,068	3,236
	+11(+7.2%)	▲55(▲1.8%)	▲44(▲1.3%)
合計	655	5,609	6,264
	▲58(▲8.2%)	▲113(▲2.0%)	▲172(▲2.7%)

※トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

2013年度見通し 経常利益分析 <対当初計画>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示



＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531